

令和 5（2023）年度 事業計画

I. はじめに	1
II. 重点事業一覧表	2
III. 各部門の重点事業	
1. 大学・短期大学部	3
2. 高等学校・中学校	5
3. 幼稚園	7
4. 学園	8

令和 5（2023）年 3 月

学校法人 比治山学園

I. はじめに

学校法人比治山学園は、これまで建学の精神に基づき、社会の発展に貢献できる人材育成に取り組んで参りました。目まぐるしく変化する時代の中で、本学園が「選ばれ続ける私学」となり、社会の要請や期待に応じて持続的に発展していくため、学校法人比治山学園中期計画＜平成 28（2016）年度～令和 3（2021）年度＞に引き続き、第二期の中期計画＜令和 4（2022）年度～令和 9（2027）年度＞を策定いたしました。当該計画では、建学の精神と、それに基づく学園の使命を実現するために、6つの重点戦略ビジョンを設定の上、12の重点施策を掲げ、学園が一体となって必要な施策・事業を着実に展開するとともに、教育実践目標『五訓「正直、勤勉、清潔、和合、感謝」』に則り、学生・生徒・園児一人ひとりを大切に丁寧な教育・保育を行うこととしております。ついては、第二期中期計画の実現を目指し、ここに重点事業を中心とした「令和 5（2023）年度事業計画」を取りまとめて実行いたします。

○比治山学園 建学の精神

「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」

○比治山学園 使命（ミッション）

「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する豊かな愛情と科学的知性をそなえた心身共に健康な人間を育成」

○比治山学園 五訓 教育の実践目標

「正直・勤勉・清潔・和合・感謝」

○比治山学園 重点戦略ビジョン6とそれに基づく重点施策12

- 1 「教育・研究」①主体的・対話的で深い学びの推進、②卓越した教育を支える独創的研究の推進
- 2 「地域貢献」③地域貢献・連携の充実、④社会人の学び直し機会の提供
- 3 「入学者確保」⑤学校・園の訴求力の向上、⑥募集活動の質的向上
- 4 「国際化」⑦国際人材の育成、⑧留学に参加しやすい環境整備
- 5 「情報化」⑨ICT活用による主体的・対話的で深い学びの推進、⑩教育・研究活動等を支える ICT 環境の提供
- 6 「経営基盤」⑪財務基盤の強化、⑫持続発展基盤体制の確立

・各設置学校の使命（ミッション）、ビジョン

I 比治山大学

1 使命（ミッション）

私たちは、建学の精神のもと、学生の教育に重点を置く大学として、豊かな人間性を培い、生きる力としての汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み、深く専門の知識及び技能を身につけさせることにより、社会や時代の求める専門職業人を育成し、生命の尊厳と永続性という視点から、グローバル時代を見据え、地域と共生しながら、持続可能な社会の発展に貢献することを使命とします。

2 ビジョン

学生が主体的・能動的に学び、学内外から卓越した教育機関として評価される高等教育拠点となる。広く深い教養に裏打ちされた豊かな人間性を培い、汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み、グローバル化し急激に変化する 21 世紀に求められる多様文化適応力を身につけさせ、地域社会や世界の発展に貢献できる幅広い職業人及び専門知識を生かした専門職業人として、中核的人材を育成する。

II 比治山大学短期大学部

1 使命（ミッション）

私たちは、建学の精神のもと、学生の教育に重点を置く大学として、豊かな人間性を培い、生きる力としての汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み、広く専門の知識及び技能を身につけさせることにより、地域のニーズに応える職業人を育成し、生命の尊厳と永続性という視点から、グローバル時代を見据え、地域と共生しながら、持続可能な社会の発展に貢献することを使命とします。

2 ビジョン

学生が主体的・能動的に学び、学内外から卓越した教育機関として評価される短期高等教育拠点となる。広い教養に裏打ちされた豊かな人間性を培い、汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み、地域社会に求められる職業的専門性を身につけさせ、実践力を高めていくことのできる職業人材を育成する。

III 比治山女子高等学校・中学校

1 使命（ミッション）

生涯にわたって社会の変化に対応できる幅広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できるための生き方・在り方について自ら考え、判断し、精進することができる女性の育成

- (1) 心安らかに他者とコミュニケーションをとることができる生徒 【正直】
- (2) 生涯にわたって学ぶ姿勢を持ち続けることのできる生徒 【勤勉】
- (3) 文化的な態度で、生命の保持・発展に寄与できる生徒 【清潔】
- (4) 幅広い視野を持ち、多様性を認め、他者理解のできる生徒 【和合】
- (5) 伝統を継承しつつ、国内外問わず、持続可能な社会の発展に貢献できる生徒 【感謝】

2 ビジョン

- (1) 感性や社会性を身につける学びを通して、ひとりの人間としての確かな土台をつくりあげるとともに、生徒の学力を着実に伸ばし、高い進路目標を達成している。
- (2) 学習活動、部活動、学校行事等を通じて、自らの力で人生を切り拓き、豊かな感性と感謝の心を兼ね備えた女性を育成している。
- (3) 比治山の女子教育のブランドイメージが高まり、生徒、保護者、教育関係者から信頼され存在感のある学校になっている。
- (4) 中期収支見込みの改善に向け、経営改革の取組みを着実に進めている。

IV 比治山大学短期大学部付属幼稚園

1 使命（ミッション）

”命を大切に作る心” ”感動する心” ”しなやかな心” を柱として、「いきいき・のびのび・どきどき」をモットーに、基本的な生活習慣・態度を育て、豊かな心情や思考力を養い、意欲や思いやりのある子どもを育てる。

2 ビジョン

- (1) 短期大学部の付属幼稚園として、先進的な教育・研究を実践すると共に、学生の実習と多様な研究協力の場を提供している。
- (2) 子育て支援事業を充実させ、地域になくてはならない園へと発展している。
- (3) 安心・安全、自然環境豊かな幼児教育の場として相応しい環境づくりに努めている。
- (4) 定員確保に努め、財政の基盤を確立している。

II. 重点事業一覧表

	大学・短期大学部	高等学校・中学校	幼稚園	学園
教育・研究	1. 学生の成長実感・満足度を高める教育の推進と質保証 2. 学生の自己実現のためのキャリア支援 3. 学修者本位の教育課程・教授内容の体系化 4. 学生生活の充実と学生ボランティア活動の活性化と地域貢献 5. 図書館機能の強化・デジタル化の推進 6. 教学マネジメントの確立による教育の改革・改善 7. 研究活動の推進による教育の質保証	1. 学活・総合的な探求の時間の再編成 2. 魅力ある中学体験学習・研修旅行・修学旅行の検討	1. 教育課程の再編成と継続的な研究の推進 2. 豊かで安全な自然環境の維持・整備	
地域貢献	8. 学生の地域連携事業への参画推進 9. 社会人の学び直し事業の推進	3. ひじやまセミナーの充実 4. 地域への指導者派遣 5. 「ひじつ子みゆにていーくりーん」の発展	3. 地域の事業への園児の参画と連携	1. コミュニティエンゲージメントの推進
入学者確保	10. 入学者選抜の検証と改革の推進 11. 入学定員の確保のための広報活動の強化	6. 小学校などへのクラブ派遣 7. 小学生を対象とした土曜ひじやまクラブの創設 8. 比治山サポートルームの設置 9. 学校説明会・オープンスクール等の充実	4. 子育て支援事業の充実 5. 保護者へのスピーディな発信と広報の強化 6. 教育活動の見える化の推進	
国際化	12. 学内のグローバル化による国際教育の実践 13. 学生の留学の推進と支援強化	10. 平和公園・広島駅等でのボランティア活動の推進	7. 異文化交流の推進	
情報化	14. ICT 活用による教育の質保証と基盤整備 15. 新たな財務システムの導入 16. BI ツールの更新	11. ICT を利活用した個別最適化学習の推進 12. 効果的な教育ソフトウェアの導入と ICT 機器の整備		2. 新しい時代に即した学園教育の検討・実施 3. 情報関連規程の制定 4. 新たな業務システム導入の検討
経営基盤	17. 働き方改革の推進	13. 生徒減少に対応した今後の学校の在り方検討	8. 今後の幼稚園の在り方検討	5. 財務基盤の強化 6. 学校間連携の強化 7. 大学・短期大学部の将来構想 8. からまつ学寮の存廃を含めた在り方検討 9. 人事政策方針の検討・策定 10. 比治山学園情報化推進計画の策定 11. IR による支援体制の強化 12. 学校法人ガバナンスの推進 13. 危機管理体制の強化

Ⅲ. 各部門の重点事業

1. 大学・短期大学部

	事業名	事業内容	令和5(2023)年度
1	学生の成長実感・満足度を高める教育の推進と質保証	「4×3の比治山力」の修得を入学から卒業まで一貫した目標とし、IR分析を基にしたPDCAサイクルにより、学生の成長実感・満足度を高め、社会が求める「考えぬく力」が身につくプログラムを設計し実施する。	「4×3の比治山力」ルーブリックを面談等で活用することを促進
2	学生の自己実現の為にキャリア支援	学生の成長実感・満足度を高めるようなキャリア支援を実施する。WEB環境の整備や学科のキャリア教育とキャリアセンター事業の連携と充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> Web環境活用（オンライン面接等のための新たな個室整備分を除く。） 大学のキャリア教育の実施
3	学修者本位の教育課程・教授内容の体系化	学生の成長実感が深まり、学修の満足度が高まるよう、学修者を主体とした教育課程を体系化し主体的な学びを推進する。さらに、教授内容の体系化に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 新指標に基づく評価の実施、既存の指標の見直し 改編後の共通教育の実施準備 専門教育の改編（第一段階）
4	学生生活の充実と学生ボランティア活動の活性化と地域貢献	クラブ活動の活性化や地域貢献につながる学外ボランティア活動の支援体制等を整備し、学生生活の満足度を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> クラブ新制度の検証・充実 クラブへの支援の充実 学友会・後援会・同窓会との連携検討 学生ボランティア制度の検討
5	図書館機能の強化・デジタル化の推進	閉館時、学外からでも図書館のデジタル資料にアクセスできるなど、いつでもどこでも利用できる（＝24時間利用可能）図書館の仕組みを構築するとともに、電子図書館に関する調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 24時間利用可能な図書館の構築 (1)リンクリゾルバの広報、利用指導 (2)電子書籍の計画的購入(試読+補助金) (3)電子図書館に関する調査・報告 図書館設備と資料の充実 (1)書架の増設(閲覧室書架1基・5号館書庫集密書架6基) (2)所蔵資料の見直し
6	教学マネジメントの確立による教育の改革・改善	毎年実施する自己点検評価の結果に基づき、教学マネジメント体制のもとで教育の改革・改善に継続的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 自己点検評価の進捗管理 教学マネジメント組織の活動状況と所掌事項等体制の精査
7	研究活動の推進による教育の質保証	外部資金に応募、採択される教員を増やして研究活動を促進し、学生の知的好奇心を引き出し、成長実感・満足度が高まる教育を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 改編後の共通教育課程の実施準備と専門教育課程の改編を通じて、研究成果を活かした科目の導入
8	学生の地域連携事業への参画推進	学生の地域連携事業への参画を促すとともに、学生や教員が地域連携事業、公開講座に参画しやすい環境を整える。また、(一社)中国経済連合会が設立した「中国地域カーボンニュートラル推進協議会」に参加し、気象変動問題というテーマを掲げて学生、教職員の地域連携を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 改編後の共通教育課程の実施準備と専門教育課程の改編を通じて、地域連携等PBL科目の導入 中国地域カーボンニュートラル推進協議会への参加
9	社会人の学び直し事業の推進	社会人の学び直し機会の提供に関するニーズ、他大学等の調査研究を行い、社会人に対し、継続的でより深い学びによる学修成果を得ることができる、満足度の高い学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の結果を基に社会人ニーズへの対応の検討

10	入学者選抜の検証と改革の推進	入学前教育プログラムの見直しと拡充を行う。そのために入学者選抜の妥当性を継続的に検証し、入学者選抜方法の見直しと実施に向けた準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 入学前教育プログラムの見直しの検討 R7年度入学者選抜変更の告知 R7年度入学者選抜変更に伴うインターネット出願システムのバージョンアップの検討
11	入学定員の確保のための広報活動の強化	広報活動の拡充や教育・研究コンテンツの制作による情報発信など、効果的な募集広報活動を実施して接触者数増をめざすとともに、接触者の本学への志望度を維持するよう継続的な情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 募集広報活動の充実の継続 オープンキャンパス・高校教員対象説明会・高校訪問・各種ガイダンス・募集広報物の制作
12	学内のグローバル化による国際教育の実践	身近な環境を国際化することで、異文化理解や留学を学生に意識させる。学内に外国人講師を常駐させるなど大学生活を通じて身近に国際教育が受けられる環境を整備し、学生の主体的な学びへとつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> グローバルエデュケーションセンターの設立準備 留学プログラムの見直し（第一段階）
13	学生の留学の推進と支援強化	学生の主体的な学びへとつながる留学を推進し、奨学金制度による経済的支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金制度の課題の検討（第一段階） 留学プログラムの見直し（第一段階）
14	ICT活用による教育の質保証と基盤整備	学生個々のICT活用能力を高めるための基盤整備を行う。対面、遠隔授業における質向上、学内プラットフォームの構築などに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 仮想基盤システムのリプレース 全学生PC必携化の開始 セキュリティソフトの導入(3年) ICTテクニカルサポートの充実 PC教室の更新(Call7号館) 新情報教育カリキュラムの開始準備 科目のICT導入の促進（第二段階）
15	新たな財務システムの導入	現行の財務システム（キャンパスプラン）の機能を強化し、業務の効率化と管理上必要な安全性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始と年間保守費の支払い
16	BIツールの更新	IRの推進に必要なBI（Business Intelligence）ツール（学内情報の一元的収集・分析ソフト）である現行のQlik ViewをQlik Senseに更新し、運用する。	<ul style="list-style-type: none"> 更新と正常運用（ランニングコストの低減）
17	働き方改革の推進	教職員の意識改革による働き方や休み方の改善、在宅勤務・テレワークの拡大、教員の労働時間管理制度の検討などにより多様で柔軟な働き方を実現し、健康的でより働きやすい職場環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 働き方や休み方の実態を把握（ポジションマップの作成と分析）。 業務分担の見直し等のマネジメント実施 所定外労働時間の削減策等の検討・実施 年次有給休暇の取得推進策の検討・実施 教員の労働時間管理制度の調査・検討

2. 高等学校・中学校

	事業名	事業内容	令和5(2023)年度
1	学活・総合的な探求の時間の再編成	学活・総合を土曜日にまとめて実施(例:1・2限 学活 3・4限 総合)することで、校外での学びを容易にし、大学や企業、地域と連携した大胆な学活・総合の指導計画を策定する。生徒が海外の国々の諸問題を探求的に学び、その上で自分たちに何ができるか考え、実践する時間としても活用する。	・学活総合の指導計画の完成に向けて協議・検討
2	魅力ある中学体験学習・研修旅行・修学旅行の検討	本校の教育内容とリンクさせた中学体験学習及び研修・修学旅行の在り方を検討する。	・体験・旅行内容の決定
3	ひじやまセミナーの充実	地域の活性化と社会貢献を図るため、本校教員、生徒による授業体験活動・クラブ体験活動である「ひじやまセミナー」を充実させる。	・セミナー内容を再検証し、内容の充実を図る。
4	地域への指導者派遣	宇品陸上クラブを母体とする小学生グループへの派遣指導を行う。また、必要に応じて、本校の部員も指導補助を行うことで、技術の再認識と指導力の向上に寄与させる。	・指導者の派遣
5	「ひじっ子みゆにていーくりん」の発展	地域社会と学校との関係性を生徒が主体的に考え行動する姿勢を育むため、従来の「ひじっ子みゆにていーくりん」を継続・発展させた活動を推進する。	・アフターコロナにおける活動の見直し ・参加者数増加に向けた呼びかけの工夫
6	小学校などへのクラブ派遣	小学校、特別養護老人ホームなどへ吹奏楽部、箏曲部、合唱部、ギターマンドリン部などを派遣し、音楽観賞会を行う。また、体育系の部を派遣し、体験教室を開催する。	・小学校への派遣2回
7	小学生を対象とした土曜ひじやまクラブの創設	地域の小学生を対象にした本校生徒、教員、クラブコーチ等による英語教室や習い事教室を設立し、隔週土曜日に実施する。また、実施に当たっては、学活・総合の取組みや小学生女子と親和性の高いクラブ活動とリンクさせるよう配慮する。	・土曜ひじやまクラブの創設
8	比治山サポートルームの設置	不登校傾向・保健室登校の生徒を対象に、授業をライブ配信することで学習支援を行う比治山サポートルームを設置する。	・既存の比治山サポートルームにカメラ等の機材を導入するなど、環境整備を実施
9	学校説明会・オープンスクール等の充実	比治山ブランドを高める広報活動の一環として、学校説明会、授業体験、クラブ体験、施設見学、制服試着、食堂体験等、様々な体験活動を充実させる。	・小学生対象2回、中学生対象2回

10	平和公園・広島駅等でのボランティア活動の推進	校外において、native speaker に対し英語でボランティア活動を推進することで、生きて使える英語力の習得を目指す(高校1年, 2年の英語コースと国際言語コミュニケーション群を対象とする)。	・平和公園, 広島駅における道案内など, 英語ボランティア活動を実施
11	ICT を利活用した個別最適化学習の推進	生徒一人ひとりの個性や能力, 適性に応じた指導の充実を図るため, 個別最適化学習アプリを全校生徒に導入する。	・個別学習アプリの導入に向けた利用方法の研究
12	効果的な教育ソフトウェアの導入と ICT 機器の整備	ICT ツールであるグループウェアの見直しを図るとともに, 基盤システムである学籍ソフト, 学籍サーバーや, 職員室, CAI 室の PC, 教員用・予備 iPad を更新する。	・職員室, CAI 室の PC の更新計画の作成 ・教員用・予備 iPad の更新について検討
13	生徒減少に対応した今後の学校の在り方検討	少子化の進行や生徒の多様な個性や特性に的確に対応した中高一貫教育を実現するため, 入学者選抜や学校規模, 施設設備等の在り方について検討する。	・入学者選抜や学校規模, 施設設備等の在り方について検討

3. 幼稚園

	事業名	事業内容	令和5(2023)年度
1	教育課程の再編成と継続的な研究の推進	幼稚園教育要領に対応した教育課程(カリキュラム)の再編成を行い、教員の意識統一を図る。また、年度初めに掲げる全学年共通の一年間の重点目標に向けて、教員が一丸となり教育内容、方法の改善、充実に努め、研究として成果をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの見直し 重点目標を掲げての研究 学校関係者評価委員会、第三者委員会の実施
2	豊かで安全な自然環境の維持・整備	「さくらの森」「ビオトープ」「いも畑」等豊かな環境づくりをしながら、安全性等に配慮した維持管理、リニューアルを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 教育内容の「見える化」の推進 下園舎砂場のリニューアル
3	地域の事業への園児の参画と連携	地域行事、牛田公民館祭りへの園児の参加、大学公開講座の園での開催、卒園児保護者を中心とした地域人材の活用などを行い、地域とのつながりを密にする。	<ul style="list-style-type: none"> 牛田公民館祭りへの参加 地域ボランティアの活用 大学・短期大学部との地域貢献の連携事業・連携活動の開催
4	子育て支援事業の充実	未就園児親子が気軽に参加でき、子育て相談やベビーマッサージ等大学との連携も兼ねて、より魅力的な支援事業になるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業の充実 支援事業の「見える化」の発信
5	保護者へのスピーディな発信と広報の強化	ホームページのリニューアル(保護者専用アプリの導入等)を含め、SNSを使ったの広報をより強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更なる充実 情報機器を利用したの広報活動の充実
6	教育活動の見える化の推進	教育活動の「見える化」のためのドキュメンテーション、写真、動画を取入れ、当園の教育活動を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> 保育の「見える化」ドキュメンテーションの発信 園務改善のためのシステムの活用
7	異文化交流の推進	大学・短期大学部の留学生と共に交流の場を作り、異文化交流の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 英語活動の充実 異文化交流会の開催
8	今後の幼稚園の在り方検討	短期大学部の附属施設として、また独立した一学校として特色のある幼稚園のあり方を検討する。	施設型給付(新制度)の幼稚園として運営

4. 学園

	事業名	事業内容	令和5(2023)年度
1	コミュニティエンゲージメントの推進	学園資源の積極的な活用や交流を通して、企業、地域社会など多様なステークホルダーに向けた社会貢献を推進する。 同窓会との交流・連携を拡大、深化させることにより、同窓会活動の活性化に助力する。	・他法人事例の研究・調査をもとに異業者間ビジネス交流会の実施施策を検討
2	新しい時代に即した学園教育の検討・実施	運用中のクラウド型グループウェアなどを活用し、ライブ配信、オンデマンドの両方に対応した遠隔授業や、保護者・一般に向けた行事の様子など各種情報を配信するとともに、教職員エンドユーザのITスキル向上と、学生・生徒へ効果的な情報教育を推進する。また、各種教務システムやLMSなどの教育システムを連携させ、学生や生徒、園児の連続的なデータを構築し、教育や経営上必要な分析結果が短時間で得られるようにする。	・クラウド環境により、授業や行事をライブ、オンデマンドの両方で配信 ・前年度の結果をもとに連続的なデータの解析のための定型を作成し、運用開始する ・ユーザのITスキル向上の検討・実施
3	情報関連規程の制定	他の教育機関や企業のIT関連規程の優れた点を参考にしながら、本学ユーザが安全かつ効率的にネットワークを利用できるような関連規程を制定する。	・策定された情報関連規定の運用。必要に応じ、規定を改定
4	新たな業務システム導入の検討	文書のペーパーレス化、電子決済、AIによる文字解析や音声解析などを利用した自動処理などの導入に向けた検討を行うとともに、引き続き、クラウドとインターネットを活用し、ビデオ会議など遠隔作業の利用促進を図る。	・一部の会議室にオンライン会議用の常設機器を整備する検討・設置 ・自動音声認識を利用した議事録作成システムの検討・導入 ・電子決済の検証と一部導入（比較的単純な決済は、運用中のサイボウズやGoogle Workspaceを利用することも可能） ・会議のペーパーレス化のため、クラウドに最適化された端末の検討・導入
5	財務基盤の強化	各学校・園の教育研究活動を支えるため、中期財務計画に基づき重点事業を進捗管理するとともに、予算編成方針策定方法等の検証、見直しを行う。また、教育目的の達成に資する外部資金の導入等、収入増加対策及び学園内における物品等の合同調達や業務委託の共同化等、経費削減対策を推進する。	・収支予測見直し ・予算編成方針等の検証・見直し ・収入増加策の実施 ・経費削減策の実施
6	学校間連携の強化	学園全体の教育の質的向上を図るため、教職員の交流や、教育の連携を強化する。また、文化活動等を通じて学生等が学びあう異年齢の交流を推進する。	・学園の教育・文化活動の調査をもとに連携事業として文化の交流の実施施策を検討
7	大学・短期大学部の将来構想	社会のニーズや時代の要請に対応した大学各学部・学科及び短期大学部各学科の改組・再編等の在り方を検討する。	・大学・短期大学部の改組・再編の在り方の方針決定及び実行準備
8	からまつ学寮の存廃を含めた在り方検討	施設の老朽度、維持管理経費、利用状況等、客観的なデータに基づいて現状の課題を整理・把握し、今後の学寮の在り方を検討する。	・方針決定のための検討資料作成
9	人事政策方針の検討・策定	教職員の定員管理、人材育成、職場環境等を柱とした人事政策方針を策定し、効果的な、人員配置と人材育成、働き方改革、人件費支出を実現する。	・人事政策の他法人の調査・研究をもとに本学での人事政策方針及び運用態様を検討
10	比治山学園情報化推進計画の策定	学園における情報化施策を一体的に推進するため、国のIT戦略の動向や本学の各部門における情報化の現状・課題等を踏まえた情報化推進計画を策定する。	・基本方針に基づく情報化推進計画の作成

11	IRによる支援体制の強化	学園内外の様々なデータを収集し、分析する 教学 IR 機能を強化するとともに、経営 IR を 実施することとし、本学園の運営塞盤の確立 や設置する各学校・園の教育の質の向上・転 換を支援する体制を強化する。	・他法人の調査・研究をもとに本学で の運用態様を検討
12	学校法人ガバナンスの推進	法人としてのガバナンス強化に対する社会か らの要請への対応や、更なる少子化の進行と ウィズコロナ時代の経営の規律及び管理運営 の在り方を検討する。	・私立学校法等の改正に基づいた『寄 附行為』の改正 ・法人としてのガバナンス強化に対す る社会からの要請の調査
13	危機管理体制の強化	安全・安心で快適な教育研究環境を確保する ため、施設整備を計画的に推進する。 ハラスメントや不祥事などの防止体制を強化 するため、学園共通の関連規程等を制定し実 施する。	・機能移転整備 給食経営管理実習室 書道実習室 総生実習室他 美術科実習室他 ・大学及び中高部のハラスメント規程 の確認・調整、学園規程案の策定 ・危機管理体制の構築